



tasar

Japan Tasar Association
<http://tasarjapan.org/>

88

Tasar News
Vol. 88
Apr 2008



2007 全日本選手権大会（稲毛） Photo by O.Ogawa

テザーワールド in プーケット

【レポート】

07 ミッドウィンターレガッタ
スプリングレガッタ

西日本選手権

第22回全日本選手権



TASAR SAILOR OF THE YEAR 2006

【メジャラー報告】

ワールドメジャラーミーティング報告
メジャラー通信



CONTENTS

スプレー満喫！ブーケットワールド



2007 Tasar World Championship

photo by Fumiko Kaneko

トロピカルなリゾートでの合宿ワールド

葉山フリート 小松 充

タイには、テーザーのフリートやヨットクラブどころか、テーザーそのものがない。しかしながら、29er などによるスキファアジアというイベントを主催するロバート・ウォーンズさんという「人」がいた。そして、オーストラリアのテーザー協会のマンパワーがあった。瞬く間にオーガナイズングコミティーは組織され、現地にもテーザーが数艇導入された。

ブーケットタウンから少し離れたケーブパンワという岬に隔離されたホテルとそのホテルのプライベートビーチに58艇のテーザーとスタッフやその家族達を含む関係者がまさに1つのところに集結し、1つのイベントは成し遂げられた。

雨季とはいえ、たいした雨もなく、ここちよい風が吹き、珊瑚が混じった白い砂浜と椰子の木陰は、素晴らしい環境であった。レースが始まった頃からは、海上の風だけはコンペティターのヒートアップする気持ちに呼応するかのように吹き上がるのだが、このプライベートビーチは岬に守られ、常にトロピカルムードの素敵な環境が用意されている。海の上で30ノット吹こうが、このビーチはここがリゾートであることを思い出させてくれ、暖かな日差しと冷たいビールに癒された笑顔は、ビール会社のCMを見るようだ。

全ての関係者がここに宿泊しているので、毎朝、朝食で顔を合わせ、海に出て、セーリングして、ビーチで一息して、ホテルの部屋で着替え、夕方からは海の見える広いウッドデッキのバーで開かれるデイリープレゼンテーションにみんなが参加する。デイリープレゼンテーションでは、その日のレースの表彰やいろいろなトピックスが披露され、大きな笑いに包まれ、それが終わると、一応、解散して、近くのおいしいタイ料理店などでディナーとなる。偶然か必然かそこでも再会したりして、密なコミュニケーションがある、あ



Philip Lawson at phil@circumnave.net

る意味、紳士的な合宿のようなワールドだった。ウェルカムパーティー、ミッドナイトファンクション、プライズギビングパーティーとイベントが進行するのに合わせて、素晴らしいソーシャルイベントも用意されていた。

ウェルカムパーティーでは、みんなが今大会で配布された揃いのシャツを着て、気持ちをひとつにした。再会もあれば、初対面もある中、楽しくコミュニケーションが深まり、地元のレディボーイズの余興なども盛大に行われ、派手に盛り上がった。

レイディ前夜のミッドナイトファンクションでは、ブーケットのFANTASEAへみんなでバスツアーして、ディナーに、ショーにと地元の観光を大いに楽しんできた。

今回のプライズギビングは、熱帯気候の場所なので、いつもと違い、フォーマルではなく、やはり少しリラックスした感じで行われた。しかしながら、濃縮された2週間の出来事が集約するこのイベントにはそれぞれが特別な気持ちを盛り上げる。ビーチサイドでの

ディナー、表彰される人々の素晴らしいスピーチ、現地で尽力したロバートさんへの各クラブからのバースト贈呈、ジョナサン・ロスを始めとするオーガナイズコミティーへの賛辞、各リージョンが披露した余興、そして、次の和歌山ワールドのプレゼンテーションなど一晩では消化しきれないくらいのファイナルイベントとなった。毎回、このプライズギビングパーティーには、感動がある。その感動の大きさは、参加したそれぞれによっても異なるだろうが、その感動のために、ここに来ているのであり、その感動は、いつも次への原動力となることは誰にとっても変わらない。

平均失点1点台の優勝争い、 非常にハイレベルなコンペティター

オーストラリアのダーウィンで前大会では、130艇以上のフリートレースが行われたが、今回はその半数程度の参加数であった。しかしながら、そのレベルは高く、トップグループは、過去のワールドの総決算のような顔ぶれであった。

ルナロッサチャレンジのメイントリマーとしてルイビトンカップに参加していたジョナサン・マッキーがバレンシアから駆けつけ、テザーにおける彼のクルーであるリビー・ジョンソン・マッキーと夫婦で参加したことは、今大会のレベルを大きく引き上げた。その注目度は高く、地元タイのメディアも注目していた。

彼らは、2003年、1996年と数度のワールドタイトルを持ち、ジョナサンに関しては、オリンピックのメダリストでもあり、あらゆるセーリングの場で活躍し続けている。

それに対抗したのが、過去最多の参加艇数だった前回ダーウィンワールドを制したワールドチャンピオンであるロバート&ニコル・ダグラス親子だった。入念なフィジカル、メンタルトレーニングをして臨んでいる彼らのポートパフォーマンスは素晴らしく、前半はマッキーチーム対ダグラスチームの構図で、両艇がトップを奪い合う展開となった。ダグラスチームのポートスピードは、ジョナサンもかなり注目していたようで、ライバル艇のチェックに余念がなかったのが印象的だった。



優勝したジョナサン・マッキーのスピーチ

2日目をダグラスチームが制し、マッキーチームがOCSや42条のペナルティーを受けたりした影響もあり、中盤、ダグラスチームが優位に立つが、後半戦で、98年メルボルンワールドを圧倒的ポートスピードで制したブレット・ヤングが、この2チームのトップ争いに割って入り、最終レースを前にダグラスチームとマッキーチームが同点、ブレット・ヤングが5点差で追う状況となった。

本戦は、20ノットオーバーの強風のシリーズとなり、初日よりも2日目、2日目より3日目と風速は日増しに増していった。それに加え、初のマイラーセイルでのレガッタでもあり、速い展開で行われる熾烈なレースは、見応えも十分だったに違いない。

最終レースは、ジョナサン&リビー・マッキーが制し、この緊迫

したレガッタの決着をつけ、3度目のワールドタイトルを手にした。

優勝チームの平均失点が1.4点、準優勝が1.7点、3位が2.2点と非常に緊迫したレースであることがよく分かる結果であった。他にも、数々の全豪タイトルをものにしていくクレイグ・マックフィーや古参ポール・リッジウェイなどがトップグループに絡み、入賞した。

余談だが、日本テザー協会 金子会長によって、2日目のトップ5のレース模様は、GPSによる航跡データが収集されており、どこでもヨットレースでその日のデイリープレゼンテーションで公開され、このGPSを用いた航跡データ収集とそのソフトウェアは、テザー関係者の注目が高く、金子会長は帰国後もこの問い合わせメールへの対応に追われたようだ。

日本からは4チームが参加

日本からは、4チームが参加し、それぞれに活躍した。今回、総合8位となった小松 充/小川 雅組は、最初のインビテーションレースで、マッキーチームを抑えて、いきなりトップフィニッシュし、最初の話題となった。かなりの強風となった本戦では、各レースの序盤は上位に絡むものの、ダウンウィンドでの走りに苦しみ、セカンドグループの上位争いに終始することになった。総合7~9位はそれぞれ1点差で、ここでも熾烈な争いが展開されたが、最終レースでマクファーレン/ペイン組に逆転負けに喫した。このマクファーレン組はテザーとファイアーボールの両クラスで活躍するチームで、ファイアーボール全豪チャンピオン、2006年ファイアーボールワールド総合3位などの戦績を残している。

前回のダーウィンワールドで優勝争いの末、総合3位となった田中郁也/紀子組は、前大会直後に転勤でしばらくテザーから離れていたため、マイラーセイルを2ヶ月前に導入し、GWに一時帰国して集中したテストを繰り返して、大会に臨んだ。軽量の彼らには強風に偏った今大会は厳しいコンディションであったが、上位でのフィニッシュもあり、大きくは崩さず、全日本タイトルを何度も手にしてきた彼ららしい手堅い健闘ぶりでも総合13位となった。

また、テザーのベテラン2人が組んだ本吉譲治/宮下知之組は、第1レース前とスコールによる30ノットオーバーの風をやり過ぎた第5レース前の2回に渡り、ポートトラブルの不運があり、総合16位となったが、もっと高順位を狙えたように思われる。

ここ数年意欲的な活動を始めているソニーセーリングクラブの久礼嘉伸/加野靖紀組は、順風域ではしっかりしたポートスピードをマスターしてきたが、あまり経験のない強風に順応しきれず、苦しいレースとなった。しかしながら、足りない部分が明確に浮き彫りになっていくのは高いレベルのレガッタのいいところで、帰国後の強風のスキルは見違えるようにレベルアップされることだろう。



Philip Lawson at phil@circumnave.net

ブーケットワールドを終えて

Kai Ona 田中郁也

ワールドがおわり、体の疲れもとれたころ、もう1回同じコンディションでレースをしたくなりました。それくらい楽しく、充実したワールドでした。一つにはレースのコンディション。レース中に無風になったり、風向が大きく変化したりすることもなく、またどちらかのエンドが極端に有利という展開もありませんでした。そういう意味で、成績には順風から強風域での実力が順当にあらわれていると思います。もう一つは、滞在です。リゾートホテルに滞在し、そのプライベートビーチがバースなので移動の負担はなし。食事も朝ごはんは充実したビュッフェ、夜は近場のレストランでそれなりに楽しめました。干上がって浜に帰ってきて、すぐに冷えた生ビールにありつけるのもよかったです。このほか、レースの運営にも大きな問題はなく、ホテルのファシリティ、アフターレースのイベントも充実していました。

一方、あえて難点をあげれば（結果的には大きな問題にはならなかったのですがリスクがあったというべきかもしれません）レスキュー体制が脆弱に思われたこと、コンテナヤードが離れており、廻航が必要だったことでしょうか。レスキューに関し特筆しておきたいのは、海上で突風に遭遇したことや、吹きあがってノーレースになったこともありましたが、マストが倒れる、ラーダーを失うなど、自力で帰着できないような致命的なトラブルはほとんどなかったことです。参加艇の多くを占めた豪艇の強風に対する慣れもあったと思いますし、参加艇が艦装を入念に点検してレースに臨んだことも理由の一つでしょう。日本で同様のコンディションでレースをやったらどうなっただろう、また一方で、選手の心がけ次第でシビアな状況をどうしのぐかという運営側の対応もずいぶん変わるのではと思った次第です。「安全なレースはトラブルの未然防止から！」、これは選手の責任の一つといえるでしょう。

次にコンテナヤードへの移動について、これはレース日程に影響を及ぼす大きな要因となりました。本戦最終日及びその翌日に強風が予想されたこと、ヤードやスロープのキャパシティの問題などから、最終日にレースは組まないという安全策がとられました。もしシリーズ中の風が不順であったなら、最終日のレースの有無は問題になったと思います。これらのブーケットでの経験は、和歌山ワールドの準備に向けて大きな糧となるでしょう。

さて、自艇のレースの印象を振り返ります。強めの風をあらかじめ予想はしていましたが、吹いた時に踏みとどまって、軽めの風で前をねらう、そして全体のスコアを作るというイメージをもっていました。なので、初日、二日目は我慢のレース。三日目あたりからは「今日も吹いてるよ～」というのが正直な気持ち、レイディ以降は吹きっぱなしの予報となり、あきらめがつきました。このような複雑な気持ちもレースが終わったあとは充実感に変わりました

が、実力者が揃った中で軽風での勝負ができなかったことはやはり残念でした。

レース中の走りについて分析すると、上位4～5番のチームとは、走りのレベルが違っていました。一瞬前にいても必ず抜かれ、実力の差を思い知らされました。でも、それは決して手が届かない差ではなく、フィニッシュの時に開いた差を半分くらいには詰めることはできるのではと思っています。具体的なポイントとして4つあげたいと思います。最初のポイントは、ハイクアウトへの集中度をあげること。今回はレース中の写真がふんだんにありますが、それらを見ると、起こしているつもりでも体がでていないことが多い。トリムやマークを探すためと、スキッパー、クルーそれぞれ言い訳はあるとしても、上位チームの姿勢と比べると違いは一目瞭然です。体重差による影響を論じる前の問題として、改善しなければならぬと思っています。二つ目は、強いブローへの対処です。シリーズの後半苦戦した原因として、前半と比べガツンと来るブローが入るようになり、その対処ができていなかったことがあげられます。体を外に出しながら、ジブを抜き、船を少し落としてスピードをあげる、のってくるスピードにあわせてジブを締める、この一連の動作ができていませんでした。三つ目は、コースの選択です。前で述べたように、片方のサイドが一方向的に有利という展開はありま



Philip Lawson at phil@circumnave.net

せんでしたので、シフトや次のブローの入り方を考えながらタックを打っていく必要がありました。しかし、自艇のコース、特に1レグと一部のレースの2レグですが、一緒に走ったら勝てないという自信のなさやビッグゲインをねらう邪な気持ちから端にでる傾向がありました。これはレース海面の特性にもよりますが、今回のレースに関していえば基本的に忠実なコース選択を行うべきでした。四つ目は、ダウンウィンドの走りです。上からフリーマークのレグで、順位を大幅に

落としたことが、それ以降のレース展開に大きな影響を与えました。マイラーセールになってフォアスターとセールが別になって、リグのセットとジブタックの緩め具合がはっきりしないままレースに臨んだこともあり、ジブを飛ばしませんでした。角度のあるフリーでは正解だと思いましたが、緩めのフリー、特に波が悪いときには全く走りませんでした。

2年後に向けての課題をはっきりさせるために辛口の自己評価をしましたが、船に乗る機会がほとんどない中でトレーニングを積み、強い風の中のレースを乗り切ったわがクルーの健闘をたたえたいと思います。今回のレースを通じて、強風でもほどほどにいけるという自信を得たことが何よりの収穫だったと思います。今回得た自信をもとに、強風に対する恐怖心を払拭し、ただ風に耐えるだけではなく、軽風と同じように少しでも速くなるためにどうしたらよいかという積極的なクルーワークにつなげていきたいと思っています。

最後になりましたが、タイ在住の私たちが、日本から自艇を運びワールドに参加できたのは、ワールドに参加された皆さん、稲毛フリーの皆さんのご協力によるものです。また、金子さん、亀山さんご夫妻には現地でのいろいろとサポートしていただきました。ありがとうございました。

ワールドの魔法

Kai Ona 2765 田中紀子

タイに来て1年半。2005年の津での全日本以来セーリングをしていなかったこともあり、練習していないのにワールドに出ることは強いという理由がありました。さらに、7月という時期。5月から10月はブーケットの海は荒れると言うのが通説。バンコクでも、雨季には突然の暴風雨に見舞われることもしばしば。これが半端じゃない。雷なんて鳴ったら、空が割れるかと思うほど。こんなのに海上で遭遇しないとも限らない...と、ネガティブスパイラルにはまっただま参加した大会でした。が、楽しかった。チンチンサヌックマーク（註：まじで面白かった）。どうやら今回もワールドの魔法にかかってしまったようです。

・呪文その1：ルワムガン（一体感）

今回は特に、今までとは一味違った大会で、運営とセーラーの一体感を感じました。普通だと、海外でのレースは、地元のセーリングクラブをホストとして開催されるけど、今回は基本的にセーラーが作り上げた大会。どちらかと言うと、99年の浜名湖のワールドを思い出させる感じがしました。

・呪文その2：サバーイディー（楽ちん）

ワールド期間中は毎日が強風。後半は半端じゃない波。さらに後半、泣き言も言えないくらい固まっちゃうようなコンディション。でも、へとへとになって帰ってきて、すぐにビールが飲めるし、部屋に戻れるし、晩ごはんも手軽に食べに行ける。朝ごはんの心配も全く無用。私たちは、セーリングして楽しんでいけばいいだけ。これは楽ちんでした。その分、今までの大会以上に、他の参加者と交流する時間も増えたと思います。他の参加者もリラックスしているように思います。まさに、サバーイサバーイ。

・呪文その3：チョークディー（好運）

運が良かったとも思います。海上での激しいスコール遭遇は、レース前に1度だけ。レース続行が難しいほどの強風も1度だけ。無風や微風でいらいらすることもなし。天気はおおむね晴れ。やしの木が倒れても、負傷者なし。

・呪文その4：コーブクンマーク

（支えてくれた人に感謝！）

受け入れ準備を万端にしていたオーストラリアのメンバー、および理解ある宿泊先のホテル、そしてなんといつても、準備のために奔走した地元のWarner氏の存在を忘れてはいけません。また、セーラーだけでなく、その家族も、あるいは友人たちも陸上や海上運営に関わっていたことも印象に残りました。リゾートでのホリデーだからと、家族で大移動してきたセーラーも多かったのです。今回の大会では、表彰式はもちろんのこと、機会あるごとに、これらのボランティアの人たちを紹介するシーンがあり、わたしたちは感謝の気持ちをもってレースに臨むことができました。

・呪文その5：サヌックサヌック

（楽しいこと大好き）

タイでは、船は人々の生活に非常に身近な存在なのですが、実のところディンギーはあまり盛んではありません。現国王陛下が導入され、愛されているスポーツの一つなのですが、一般的ではありません。ホテルの従業員も庭師のおじちゃんたちもみんな興味津々。もともと楽しいことタイ好きなお国柄。みんな好意的に受け入れてくれていました。あるおじちゃんは、やしの実取りの名人。パースにはたくさんのやしの木が生えているのですが、実が落ちてきたら大変だからと、するすると木に登っての実演を披露。やんやんやの喝采を浴びます。パース近くにあったピーチパーの従業員も、いつもにこにこ。稲毛フリートの某氏に瓜二つのウィチャンをはじめ、人懐こい笑顔に、疲れが癒されました。レストランのウェーターやプール管理のおじさんとも顔見知りになると、「今日はイチバンで帰ってくるかい」とか「今ナンバン?」とか、気さくに（タイ語で）声をかけてもらえます。彼らも、一般掲示板に貼られていた成績をチェックしていて、一緒に楽しんでくれていました。

・呪文その6：マイペンライ

（まあ、いっか?というより、問題なし?）

私たちの結果は13位。大満足です。マイペンライ。自分たちより前の顔ぶれを見ると、納得。たとえば、もっと練習して臨んだとして、どこまで上がったかを考えると、やっぱり大満足です。マイペンライ！未体験ゾーンのコンディションでレースができて、ノートラブルだったことも良い経験になりました。これもチョークディーだったのかな。ちょっと壁を乗えた感じです。この感覚を忘れないうちに練習をするのが良いのだけれど。まあ、いっか。まいペンらい。

・呪文その7：キットウング（みんなが恋しい~）

毎週末テザーに乗れるんだったら、もう日本に帰っちゃってもいいかも、と思ったくらいです。やっぱりセーリングって面白いね。一緒に楽しめる仲間がいるっていうのもステキ。

今回は10年ぶりの日本での開催です。是非、準備もレースも、思い切り楽しんでいただきたいと思います。わたしも、自分がイチバン楽しむつもりで参加します！そして、さらにその2年後には、是非ともイギリス（またはヨーロッパ）でのワールドに参加してみてください。あなたもきっとはまると思います。



正直なところ無理をして参加して本当に良かったと思った。
隠れ家的リゾートホテルに滞在し、各国からの参加者全員がいつも顔を合わせた濃密度な二週間。

おかげで多くの外国人セラーと話を交わすことが出来た。

日本ではなかなか味わえない連日の強風と不規則な波の中、参加艇数こそ少なかったものの高レベルのレースが展開された。
トラブル続きで成績は満足ゆくものではなかったものの、納得の場面も数多くあり過激な程のスプレーを大いに堪能した。

辛いけどやっぱり美味しいタイフード。
毎日腹一杯食べても強風セーリングのおかげで太らなかつたぜ。

トロピカルムードいっぱいのプライベートビーチで飲むビールの旨いこと。

レイデイにはサンゴ礁と熱帯魚の島ピビ島へツアー。



この素晴らしい体験を共有できた宮下さんに感謝！
休眠中だったヨットの虫が目覚まし、再びレースモードにスイッチオンする・・・かどうか・・・？

2009年 ワールド

フーケットワールドも成功裡に幕を閉じ、次はいよいよ日本で開催となります。ダーウィン大会以後その準備を進めてきましたが、和歌山県連のご協力のもと和歌山マリーナシティ（ディンギーハーバー）で9月に開催することとなりました。フーケットでのWTCミーティングとワールド最終日の表彰パーティーの場で2009年和歌山でのワールド開催を発表しました。

日本では1999年の浜名湖以来10年ぶりとなるこの大会をJTAMメンバー全員の力を合わせて成功に導きましょう。選手として出場するばかりでなく、外国チームを迎えるホストとして積極的に運営にも参加していただきますようお願い致します。



「いや～幸せだな～俺たちは！みんなにも味わわせてあげたいな～」
これはphuketの海に出た時、譲治さんが一番最初に言った言葉です。実際、ヤシの木が生える白い砂浜（プライベートビーチ）から出艇し、大小の島々の浮かぶライトグリーンの海でセーリング・・・さらに宿泊、レースオフィス、そしてポートヤードなどのレースに関係する全てが一つのホテルの中にあります。毎日セーリングが終わった後は、ビーチの中央にあるBarでの冷たいビール！タイの平尾君が笑顔で運んでくれます。シャワーの後。ホテル内にあるBarでDaily presentation! Alistair Murrayの軽快なおしゃべりにのって、その日のレース結果が表彰されます。金子さんが、GPSで記録したレースの様相をプロジェクターで映し出し、みんなで盛り上がり、夕飯はタイ料理を田中紀子さんがタイ語で注文してくれます。・・・我々はこのような毎日を過ごしてきました。レースをする環境としてはこれ以上の物は考えられないくらいでした。そして何よりもレース！連日の強風、船のトラブル、体力、練習不足、コンビネーション・・・いろんな問題があって自分たちの期待していた成績とはれなかつたけど、譲治さんは常に新しいセーリング方法を模索し、試している事を見せてくれました。私にとっては自分のミスを痛感する毎日だったけれど、こんなに勉強になったレースはありませんでした。短い期間だったけれど、一緒にセーリングできたこと本当にうれしく思っています。ありがとうございました。また、現地まで来ていろいろお手伝いしてくれた金子家、亀山家、日本チームの皆さん、日本で応援してくれた方々、すばらしい世界選手権を短期間で準備し運営したオーストラリアの方々、そして支えてくれた家族に感謝したいと思います。ありがとうございました。今こうやってこの原稿を書きながらphuketの日々を思い返すと、冒頭の譲治さんの言葉は、自分の気持ちと同じだな～と思っています。



2回目のワールド

2005年のダーウィン大会に引き続き、今大会が2回目の世界選手権となりました。舞台となるフーケットへは一日掛かりの旅となり、次の日には海に出て、練習の後にはビーチで一杯、レースの後には皆で一杯、パーティもあれば観光もある。毎日が異文化交流で、そこで感じる喜怒哀楽のどれもが「ワールドに来たんだ」を実感させてくれる大切な瞬間です。2回目ともなれば友達も増え、慣れない英語にも抑揚が付き、ついハチャメチャな言葉を発してしまうのだが...、それでも伝わるところが面白い。生きた表現がここでの共通語となるようです。ある人は酒を片手に、ある人は海の上で、またある人は陰からその語を語る。"誰でも参加できるTasar級世界選手権大会、まずは身近な日本でそれを味わってみてください。"

G4S 2007 Tasar World Championship

Progressive Results

Tasar

Place	Country	Sail No	Bow	Boat name	Helm	Crew	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Pts	Drop	Nett
1	USA	2755	57	West Coast Sailing	Jonathan McKee	Libby Johnson-Mckee	1	1	2	(59O) 2	(59F) 1	2	1	2	1	128	118	10
2	AUS	2710	14	Chukkel	Robert Douglass	Nicole Douglass	2	2	1	1	1	2	(3)	3	(4)	19	7	12
3	AUS	2780	25	Code Flag Z	Brett Young	Kevin Kellow	4	3	(5)	3	(5)	1	2	1	2	26	10	16
4	AUS	2666	30	More Small Things	Craig McPhee	Gillian Berry	3	5	3	2	(9)	3	(8)	4	3	40	17	23
5	AUS	2742	03	Bpr Consulting	Paul Ridgway	Bronwyn Ridgway	(8)	6	7	4	4	(8)	5	6	6	54	16	38
6	AUS	2776	47	Rustafarian Rocket	Luke Owen	Megan Ridgway	(15)	(20)	4	8	7	5	6	5	13	83	35	48
7	AUS	2781	07	Chaos Theory	Heather MacFarlane	Chris Payne	10	10	10	9	(11)	4	(11)	8	5	78	22	56
8	JPN	2761	17	Strawberry Shake	Mitsuru Komatsu	Masaru Ogawa	11	7	6	(13)	8	11	7	(12)	7	82	25	57
9	AUS	2601	02	Wotchamacallit	Derick Warne	Gwen Warne	7	15	8	14	3	(59F) 4	7	(59F)	176	118	58	
10	AUS	2779	06	Clarebuoyant	Alistair Murray	Clare Murray	12	(16)	9	6	(22)	6	12	10	11	104	38	66
11	AUS	2782	46	Hudwalloper	Kym Widdows	Melissa Crawford	6	4	15	(27)	10	13	(59F) 9	10	10	153	86	67
12	AUS	2777	38	Upyzawl	Martyn Sly	Sue Sly	9	13	(17)	7	6	9	(15)	14	12	102	32	70
13	JPN	2765	21	Kai Ona	Ikuya Tanaka	Noriko Tanaka	14	11	(18)	5	14	7	14	(21)	8	112	39	73
14	AUS	2570	49	Alexander & Assoc	Earle Alexander	Claus Ejlersen	13	17	11	18	(59O) 12	(59C) 13	9	9	211	118	93	
15	USA	2397	05	Bail	Bruce Gage	Indra Finch	17	(19)	12	16	12	(59F) 9	18	15	177	78	99	
16	JPN	2395	36	Miracle Porgy	George Motoyoshi	Tomoyuki Miyashita	(59S) 18	13	11	(59S) 16	10	20	14	14	220	118	102	
17	CAN	2388	16	Brunhild	Guy Wall	Marie Wall	21	(23)	22	15	15	15	13	(24)	17	165	47	118
18	AUS	2770	53	Trouble	Michael Quirk	Marise Hannaford	(30)	24	25	26	(59S) 10	21	11	19	225	89	136	
19	AUS	2799	01	Sheepstations	Jonathan Ross	Kyle Ross	(32)	14	21	19	25	28	(59F) 16	20	234	91	143	
20	AUS	2786	11	U & I	Ian Shand	Felicity Shand	20	(34)	24	(36)	17	19	16	28	21	215	70	145
21	GBR	2804	10	The Stroppey Princess	Pete Ellis	Charlotte Birbeck	25	21	20	21	16	(27)	(59F) 19	23	231	86	145	
22	AUS	2659	33	Hakuna Matata	Michael Paynter	Kim Paynter	39	28	16	10	(59S) (59S)	18	17	18	264	118	146	
23	AUS	2475	34	Platform 9 3/4	Rick Longottom	Carmen Longbottom	22	12	28	17	26	(30)	20	(33)	28	216	63	153
24	AUS	2772	28	Well Heeled	Rob Gilpin	Jacqui Isaacs	(28)	27	(32)	25	18	22	22	23	16	213	60	153
25	AUS	2300	51	Mango Chilli	Josh Faddy	Louise Houtzager	(29)	26	14	22	19	21	27	25	(30)	213	59	154
26	GBR	2801	26	Spaggerwocky	Neil Spacagna	Tom Baker	24	9	(59Q) 35	34	(38)	17	15	22	253	97	156	
27	AUS	2237	12	Dodgy Element	Darryl Bentley	Andrew Foulkes	19	(36)	(30)	20	23	29	23	27	24	231	66	165
28	NED	298	58	Vlieg Er Eens Uit	Constantine Udo	Jan Slotemaker	16	30	27	(31)	(32)	17	24	30	27	234	63	171
29	AUS	2769	22	The Antzpantz	Tony Creak	Julie Creak	18	29	(33)	30	27	20	(48)	26	31	262	81	181
30	AUS	2747	08	Tsunami	John Eriksson	Jim Rae	(36)	(47)	31	32	13	23	25	34	25	266	83	183
31	AUS	2619	42	Galah	Ian Best	Paula Briggs	26	22	(35)	29	29	25	26	32	(33)	257	68	189
32	RSA	2617	52	Waimukabout	Campbell Alexander	Debbie Cox	23	31	37	24	33	18	(59F) (44)	34	303	103	200	
33	AUS	2665	27	Agamemnon	Chris Parkinson	Nicola Callander	31	(38)	29	33	31	31	19	(36)	26	274	74	200
34	GBR	2640	19	Dry White	John Lawton	Kevin Baker	33	35	(36)	28	21	26	28	(38)	29	274	74	200
35	AUS	2092	18	Hair Of The Dog	Stuart Templeton	Nicole Kidman	(59F) (59C)	19	38	20	14	31	22	59F	321	118	203	

36	JPN	2768	50	Megaptera	Yoshinobu Kure	Yasunori Kano	(35)	33	34	34	30	24	32	31	(59F)	312	94	218	
37	AUS	2727	24	Single Malt	Graham Hanna	Elizabeth Kemmis	(59S)	39	23	12	24	33	(59F)	29	59S	337	118	219	
38	AUS	2771	45	Firefly	Ian James	Phillippa Arevalo		34	25	26	23	28	40	(59F)	(59S)	59S	353	118	235
39	AUS	2618	37	Talisman On Tour	Brad Tallis	J T Tallis		27	37	38	(59F)	36	36	34	(39)	36	342	98	244
40	AUS	2581	41	Afternoon Delight	Warren Morris	Matthew Morris	(46)	41	40	40	38	32	33	(46)	32	348	92	256	
41	AUS	2763	40	More Edge	John Balass	Heather Forton		42	43	39	(49)	41	(44)	29	43	39	369	93	276
42	CAN	2280	09	Something Sirius	Richard Spencer	Peter Graham		37.5	42	43	39	(59S)	(59S)	38	42	35	394.5	118	276.
43	AUS	1885	35	Stormbringer	Ross McDonald	Jessica Barr		41	45	(48)	45	35	35	36	40	(59S)	384	107	277
44	AUS	2590	29	Slam Dunc	Duncan Robertson	Melinda Rippe		40	44	41	44	(59S)	(59S)	35	37	37	396	118	278
45	AUS	2787	48	Bad	Norman Rydge	Mei Sien Loke		5	8	(59S)	(59S)	59S	59S	59F	35	59F	402	118	284
46	AUS	1871	39	Just A Faze	Colin Franke	Daniel Franke		49	(52)	46	50	37	39	37	48	(59S)	417	111	306
47	THA	1857	55	Funny Look'N	Tom Basquin	Pierre Basquin		47.5	46	(59F)	48	39	34	46	47	(59S)	425.5	118	307.
48	AUS	2588	20	What A Pearler	Andrew Finney	Julie Finney		44	48	42	47	40	46	42	(50)	(59S)	418	109	309
49	AUS	1908	13	Slippery When Wet	Cary Pedicini	Patricia Pedicini		43	40	45	37	(59S)	(59S)	30	59F	59S	431	118	313
50	AUS	2075	31	Game On	Adrian Nicholson	Rebecca Nicholson		37.5	32	44	41	(59S)	(59S)	59C	41	59S	431.5	118	313.
51	USA	2379	04	Baby Bluga	Shelley MacY	Gary Brandt		45	(53)	52	42	43	37	45	52	(59S)	428	112	316
52	AUS	1001	44	The Manipulator	Will Scholes	Ian Scholes		51	49	49	43	45	45	40	(56)	(59S)	437	115	322
53	AUS	2182	15	Doof Doof	Noel Borel	Clare Woods	(52)	51	47	46	42	43	43	51	(59S)	434	111	323	
54	AUS	278	43	Dutch Treat	Mark Atkin	Scott Kither		50	(56)	54	53	44	41	47	54	(59S)	458	115	343
55	AUS	2121	56	Sufferin Succotash	Bruce Litchfield	Simon Litchfield	(59S)	54	51	54	(59S)	59S	39	53	38	466	118	348	
56	THA	1914	54	Slipstream	Andrew De Bruin	Donna Stephens		53	57	53	52	(59S)	42	41	55	(59S)	471	118	353
57	AUS	2778	32	Naiad	Bryan Hill	Ron Anderson		47.5	50	(59F)	(59S)	59S	59S	44	45	59S	481.5	118	363.
58	AUS	2797	23	Tugela	David Savage	Jacqui Winship	(59S)	55	50	51	(59S)	59S	59F	49	59S	500	118	382	

[REGATTA MANAGER \(TM\) Copyright © 2002-2007 RTS SYSTEMS www.RegattaManager.com.au](http://www.RegattaManager.com.au)

ワールドメジャラーミーティング報告

JTAメジャラー 宮下 知之

7月3日にワールドメジャラーミーティングが行われました。JTAを代表して会長の金子さん、メジャラーの宮下、アドバイザー(通訳)として宮下久美が参加しました。

内容

1. Interpretation 34, 35, 36の承認 問題なく承認される

メインセールだけでなくジブセールについてもリーチフラッターがおこる物があることも報告された。

2. Regional Position Report & 意見・提案・なんでも

・テザー組み立て図について(注 参考解説)

最もメジャーな艀装を元に描いたが、全てのテザーがこれに当てはまるというわけではない。

「こうでなければならない」ではなく、あくまで「参考図」ということでwebに掲載することで合意。

・インドネシア製の船の問題について

オーストラリアと日本でも同じような問題(ハルとデッキがはがれる)の新艇があった。

いずれも修理済み。

問題のあった艇はいまのところ第1ロットの船のみ。

修理すれば直せる(貼り付けられる)ので、問題があればディーラーに言って直せばよい。

今後また問題のある船があれば報告しあって情報を共有しよう。

・コンパスへの引っかかりよけについて

チーフメジャラーから、「今回、シートを使ったものだけでなく、プラ版?を使った

ようなものまであったが、プレ計測を通過していたこともあって大目にみた。柔軟に対応しよう。」

・艀装がメジャラーの承認なしにコロコロ変わることに(日本)

望ましくないとは思っている。変えていかなければいけないと思うが、

非常に難しい問題だ。ほらまたnew changeがやってきた

(と、カーボンティラー& new ラダーヘッドを持ったベスウェイト登場)

3. suggestions for any rule changes

・クルーウェイトの件(金子さんから)

これはもうカウンスルで議論すべき問題だとし、チーフメジャラーはメジャラーとして議論しないことを提案したがどうしてもと言って反対意見を述べた。

(テザーの年齢層は高く、体重も重い人が多く、クルーウェイトを撤廃することによって

それらの人離れが懸念されるとのこと。)

これに対して他の人から、子どもと乗る人も出てきているから・

という柔軟な意見もあり。これらの意見は単なるコメントとして受け付けられ、

議論はカウンシルへ持ち越し。

・GPS登載について(金子さんから)

これもカウンシルで議論すべき問題だとチーフメジャー。

ただしこれについてはカウンシルで議論時にメジャーみんなが支持するぞ！と非常に好意的だった。

解説

オーストラリアでは、ベアハルを購入し、ジブリーダーやサイドステーのレールなどの艀装品をオーナー自身がつけるという購入方法があるそうです。組み立て図はそのための設計図です。このような購入方法は日本では行われていません。私(メジャー)はこのような方法に疑問を持ち、現在チーフメジャーと話し合いを行っています。結論が出ましたらウェブサイトやメーリングリストなどを通じて皆さんにお知らせしていきたいと思っています。

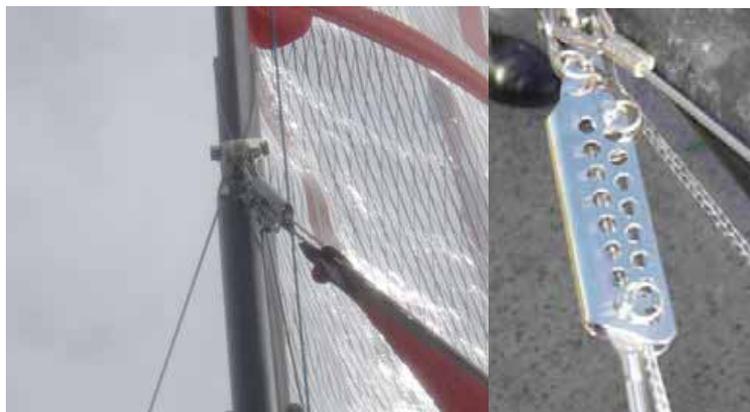
メジャラー通信

JTAメジャラー 宮下 知之

今回のメジャラー通信ではPhuket worldで見られた艀装で、日本にまだないもの紹介をしたいと思います。いずれもクラスルールの範囲内で合法とされていますのですぐにでも使用できます。(ただし、Adjustable fore stayに関しては、ルールが不完全と思われるところがあるので、チーフメジャラーとの話し合いをすすめているところです。)また現在、大谷さんとこれらの販売について話を詰めているところです。疑問や不明な点があれば、メジャラーにお尋ね下さい。

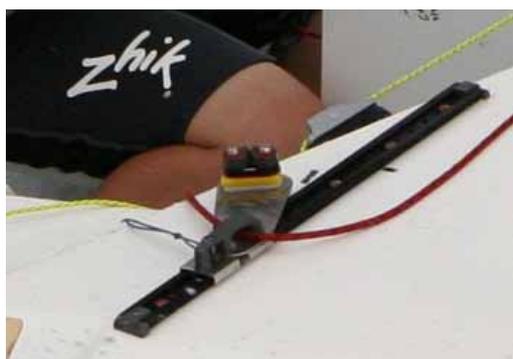
Adjustable fore stay

世界Tasar協会のWeb site (http://www.tasar.org/wtca/rules/jib_rigging.html) に紹介されていますので、ご存知の方もいると思いますが、マイラーセールになってフォアステーとジブセールが別になったため、長さの調節が可能なフォアステーが使用できるようになりました。メリットとしてはクルーの変更などのたびにフォアステーを作り直す必要が無いということでしょう。ワールドでは多くの船が実際にこの艀装を使っていました。ステーのエンドはターミナルになっているものもありました。



Jib leader

今回、多くのオーストラリア製のボートは北米タイプのJibシステムをつけていました。さらにこのジブリーダーのストッパーのところにシートとポールをつけており(写真参照)、このポールを斜め上に引っ張るとストッパーがはずれて、簡単にジブリーダーを動かすことができるシステムを使用している船がかなりありました。北米タイプのJibシステムは、新しく北米のビルダーになったwest coast sailingのweb siteで他のTasarのパーツと共に売られています。http://www.westcoastsailing.net/osCommerce/catalog/-c-76_79.html 大谷さんのところでも販売するように話をすすめています。



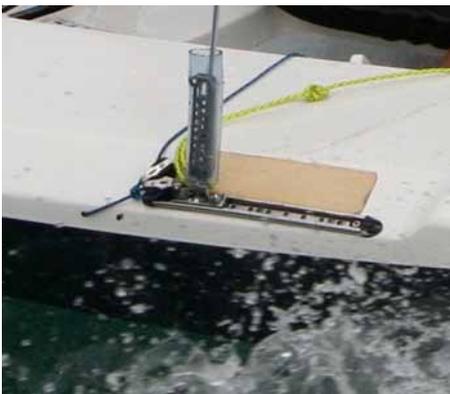
ウイスキーポールフォルダー

標準のビニールチューブ製と異なり、プラスチックのバンドのような素材や金属(アルミ)製のパイプを上下ずらして取り付けて使用しているボートが多数ありました。ビニールチューブ製のものは、内部にシートが通っているため、塩出しが完全に行えず、電触することがよくありますが、以下のような素材なら電触の心配がないと思われます。また、上下をずらしてフォルダーをつけることにより、収納部分の面積が広がり簡単にウイスキーポールが収納できるメリットがあると思います。クラスルール C2.4g ではウイスキーポールのホルダーについて書かれていますが、形や大きさについての規定はありませんので、機能的な物へ変更が可能です。ウイスキーポールをよく落とす方、変えてみては??



サイドステー

クラスルール補足説明 33 にあるようにサイドステーのストッパーは必ずしもつけなくて良くなりました。実際、サイドステー止の無い船が多く見られました。この背景にはサイドステーを後方に引っ張るシートの取り回しにブロックを2つ使って良い事になったクラスルール C2.2 k があると思われます。クルーでもスキッパーでも簡単にサイドステーの調整が可能です。ストッパーが無いことのメリットとデメリット・・・トップセイラー達はメリットの方が大きく感じられているようです。



TASAR SAILOR OF THE YEAR 2006

スプリングレガッタのパーティーで2006年度のTASAR SAILOR OF THE YEARの表彰がおこなわれました。

年間を通じて日本テザー協会が主催する公式レースに於いて、最も優秀な成績を修め、かつ最も協会イベントに貢献した会員に対して贈られる「TASAR SAILOR OF THE YEAR 最優秀選手賞」は、2006年オータムレガッタのチャンピオンでもある葉山フリートの山本 晴之さんが受賞しました。

また、2006年度の公式レガッタすべてに参加した会員を表彰する「皆勤賞」は山本さんはじめ3名が受賞し、特別賞として「功労賞」を江ノ島フリートの村尾さんに贈呈することとなりました。

最優秀選手賞

山本 晴之さん (葉山)



皆勤賞

山本 晴之さん (葉山)



建内 満さん (葉山)



岡 誠さん (葉山)



功労賞

村尾 隆さん (江ノ島)

2006 TASAR SAILOR
OF THE YEAR

順位	NAME	FLEET	JTA R数	スプリングレガッタ					西日本選手権					ミッドサマーレガッタ					オータムレガッタ					全日本選手権					ミッドウインター					RP	TP
				参加艇数		36 艇		参加艇数		23 艇		参加艇数		15 艇		参加艇数		27 艇		参加艇数		48 艇		参加艇数		15 艇									
				Entry 76人	葉山	Entry 44人	芦屋	Entry 31人	猪苗代	Entry 57人	江ノ島	Entry 104人	江ノ島	Entry 31人	稲毛																				
葉山 (4/29/30)					芦屋 (7/16)					猪苗代 (8/19/20)					江ノ島 (9/17)					江ノ島 (10/28/29)					稲毛 (2/18)										
RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	
1	山本 晴之	葉山	6	2	35	0	35	2	22	3	25	15	1	2	3	1	27	1	28	10	39	1	40	3	13	1	14	137	145						
2	中島 玲子	葉山	5	2	35	0	35	2	22	3	25	15	1	2	3	1	27	1	28	10	39	1	40	3	13	0	0	124	131						
3	白岩 道孝	浜名湖	5	10	27	2	29	1	23	2	25	0	0	0	5	23	2	25	14	35	2	37	7	9	2	11	117	127							
4	小松 充	葉山	5	1	36	0	36	0	0	0	12	4	2	6	7	21	1	22	4	45	1	46	2	14	1	15	120	125							
4	小川 雅	葉山	5	1	36	0	36	0	0	0	12	4	2	6	7	21	1	22	4	45	1	46	2	14	1	15	120	125							
6	平生 純一郎	稲毛	5	14	23	1	24	0	0	0	1	15	2	17	6	22	1	23	3	46	1	47	9	7	2	0	9	113	120						
7	本吉 譲治	葉山	4	16	21	0	21	8	16	3	19	0	0	0	4	24	1	25	2	47	1	48	0	0	0	0	0	108	113						
8	赤井 寛	江ノ島	4	3	34	1	35	0	0	0	5	11	2	13	9	19	0	19	9	40	0	40	0	0	0	0	0	104	107						
9	建内 満	葉山	6	6	31	0	31	5	19	3	22	3	13	2	15	12	16	1	17	36	13	1	14	12	4	1	5	96	104						
9	岡 誠	葉山	6	6	31	0	31	5	19	3	22	3	13	2	15	12	16	1	17	36	13	1	14	12	4	1	5	96	104						
11	野嶋 嘉昭	葉山	4	4	33	0	33	0	0	0	4	12	2	14	8	20	1	21	15	34	1	35	0	0	0	0	0	99	103						
12	宇佐美 重則	稲毛	4	17	20	1	21	0	0	0	2	14	2	16	2	26	1	27	17	32	1	33	0	0	0	0	0	92	97						
13	千波 正隆	江ノ島	2	3	34	1	35	0	0	0	0	0	0	0	9	19	3	0	38	0	38	0	0	0	0	0	0	53	95						
14	石丸 寿美子	葉山	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	25	1	22	1	48	1	49	5	11	1	12	84	87							
15	宮下 知之	葉山	1	0	24	0	24	3	21	3	24	0	0	0	0	0	0	0	0	38	0	38	0	0	0	0	0	21	86						
16	高山 勝	琵琶湖	3	8	29	3	32	7	17	1	18	0	0	0	0	0	0	0	20	29	3	32	0	0	0	0	0	75	82						
17	蜂須賀 強	浜名湖	4	23	14	2	16	0	0	0	0	0	0	11	17	2	19	13	36	2	38	10	6	2	8	73	81								
18	久礼 嘉伸	葉山	5	32	5	0	5	0	0	0	9	7	2	9	13	15	1	16	8	41	1	42	11	5	1	6	73	78							
19	金子 ルミ	稲毛	4	29	8	1	9	20	4	3	7	0	0	0	27	1	1	2	5	44	1	45	0	12	0	12	57	75							
20	金子 文雄	稲毛	5	29	8	1	9	20	4	3	7	0	0	0	27	1	1	2	5	44	1	45	8	8	2	0	10	65	73						
21	中西 英貴	芦屋	3	9	28	3	31	4	20	0	20	0	0	0	0	0	0	0	31	18	3	21	0	0	0	0	0	66	72						
21	村尾 隆	江ノ島	4	11	26	1	27	0	0	0	5	11	2	2	15	15	13	3	0	16	40	9	5	0	14	0	0	59	72						
21	星野 直広	江ノ島	4	15	22	1	23	0	0	0	0	0	0	0	16	12	3	0	15	23	26	5	0	31	14	2	1	3	62	72					
24	宮本 哲生	稲毛	3	30	7	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	42	1	43	1	15	2	0	17	64	68						
25	安澤 厚男	芦屋	3	18	19	3	22	15	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	18	31	3	34	0	0	0	0	0	59	65						
25	下村 晃司	芦屋	3	13	24	3	27	6	18	0	18	0	0	0	0	0	0	0	32	17	3	20	0	0	0	0	0	59	65						
27	本間 威	葉山	3	22	15	24	0	39	0	0	0	0	0	0	20	8	1	9	38	11	1	12	0	0	0	0	0	34	60						
28	軽部 香	稲毛	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	18	1	0	6	43	1	44	4	12	2	0	14	73	58							
29	田口 裕介	葉山	3	20	17	0	17	0	0	0	0	0	0	0	17	11	1	12	21	28	1	29	0	0	0	0	0	56	58						
30	三輪 記裕	大阪北港	2	0	0	0	0	9	15	1	16	0	0	0	0	0	0	0	11	38	3	41	0	0	0	0	0	53	57						
31	加野 靖紀	博多	3	25	12	3	15	17	7	3	10	0	0	0	0	0	0	0	22	27	3	30	0	0	0	0	0	46	55						
32	小林 昌弥	葉山	2	7	30	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	23	1	24	0	0	0	0	0	53	54						
33	関口 真秀	葉山	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	24	1	25	24	25	1	26	0	0	0	0	0	49	51						
34	小沢 拓身	野比	2	8	29	1	30	7	17	3	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	50						
35	田中 真人	稲毛	3	24	13	1	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	21	1	22	8	8	2	0	10	42	46						
36	亀山 寛達	稲毛	2	5	32	1	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	10	2	0	12	42	45									
37	外石 満	葉山	4	21	16	0	16	0	0	0	8	8	2	10	24	4	1	5	37	12	1	13	0	0	0	0	0	40	44						
37	石原 裕二	葉山	4	22	15	0	15	0	0	0	10	6	2	8	20	8	1	9	38	11	1	12	0	0	0	0	0	40	44						
39	梅田 哲士	葉山	3	0	0	0	0	0	0	0	6	10	2	12	22	6	1	7	27	22	1	23	0	0	0	0	0	38	42						
40	山分 信	江ノ島	3	34	3	1	4	0	0	0	0	0	0	0	18	10	0	10	30	19	5	0	24	0	0	0	0	32	38						
40	田口 公一	江ノ島	3	34	3	1	4	0	0	0	0	0	0	0	18	10	0	10	30	19	5	0	24	0	0	0	0	32	38						
42	山下 栄輝	葉山	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14	1	15	29	20	1	21	0	0	0	0	0	34	36						
42	瀧本 浩一	江ノ島	3	27	10	1	11	0	0	0	0	0	0	0	19	9	3	0	12	41	8	5	0	13	0	0	0	27	36						
44	長谷川 勝啓	浜名湖	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	33	2	35	0	0	0	0	0	33	35						
44	井上 敦	稲毛	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	21	1	22	6	10	2	0	12	31	34						
46	玉置 淳	芦屋	2	0	0	0	0	19	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	25	24	3	27	0	0	0	0	0	29	32						
47	杉浦 琴	葉山	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	30	1	31	0	0	0	0	0	30	31						
47	野本 雅史	葉山	4	26	11	0	11	0	0	0	11	5	2	7	22	6	1	7	44	5	1	6	0	0	0	0	0	27	31						
49	河野 恭子	博多	2	25	12	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	27	3	30	0	0	0	0	0	39	30						
50	荒島 謙治	葉山	5	7	30	0	0	0	0	0	13	3	2	5	23	5	1	6	35	14	1	15	15	1	1	2	53	28							
51	大橋 武史	葉山	2	19	18	0	18	0	0	0	0	0	0	0	21	7	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	26						
51	関根 恒久	稲毛	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	25	1	26	0	0	0	0	0	25	26						
53	高橋 徹	江ノ島	3	28	9	1	10	0	0	0	0	0	0	0	25	3	3	0	6	46	3	5	0	8	0	0	15	24							
54	多井 堅一郎	葉山	3	33	4	0	4	0	0	0	7	9	2	11	0	0	0	0	42	7	1	8	0	0	0	0	0	20	23						
54	池田 俊則	大阪北港	2	31	6	3	9	11	13	1	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	23						
56	安原 実郎	葉山	2	35	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	16	1	17	0	0	0	0	18	19							
57	徳田 幹太	大阪北港	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	15	3	18	0	0	0	0	0	15	18						
57	吉村 均	大阪北港	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	15	3	18	0	0	0	0	0	15	18						

2007ミッドウィンターレポート

宮本 哲生

ウドさんと再び

年末、年を越える頃、突然 変な(失礼!),アルファベットニホンゴのメール。誰かと思ったら、ウドさんの誘いのメール。これが今回の始まり。 昨年、オランダのウドさんと江ノ島全日本に出た時、「いつかまた乗りましょう。」と言ったことが実際に実現することになった。

レース前日、海浜幕張駅まで迎えに行き、再会。早速着替えて、即練習。磯辺高校のマーク練習に入れてもらいセーリング。天気はよし、風は時より 5~6m/s 心地の良いセーリング日和。

スタート、マーク回航のコンビネーションに少し不安があったが、2回の回航で感覚が復活。

マイラーセールもなかなか好調。明日はいけるんじゃないのとの結論で前日は終了。

レース前

当日はうって変わって、雨まじりの気味悪い曇天。ハーバーでは時より出艇前のセールがバリバリうなる。天気予報では昼ごろ 10m/s オーバーの予報。う~ん これは中止か???

どうなることやらとしばらく待っているうち、ぼつりぼつり出艇。どうやら決行することに。

レース委員長の山床さんの英断に感謝。

1R

海面に出てみると、風は 4~5m/s の軽風、思ったより風はない。しかし雨は止んだが、非常に寒い。ウドさんはいつものごとく他の艇に近寄っては「コンニチワー」と愛想をふりまく。非常に元気だ。風はあるので、待つ程もなく クラス旗掲揚、スタート。スタートは少し遅れたが、左のブローを信じて突き進む。なんとか、挽回し 3位。

2R

風が吹きあがってきた。今度はスタートは非常に良い。マーク回航を確実にしようと確認し、気合いが入る。上マークの前で右から来た小松・小川さんの後ろに近づく。上マーク回航、コンビネーションがここぞと決まる。マーク回航後、セールはシバせず、ウイスキーセットが瞬時に決まる。こんな感覚は久々である。練習の甲斐があった。ぐんぐん進む。トップに出た。この感覚である。最終上にマークを間違えそうになったが、保って 1位。

3R

風は同じ程度、調子も上々、このレースも1上でトップになった。しかし2上で些細な(僕はその時そう思ったのだが)トラブル発生。トラベラーの外れ止めのシートが切れた。

後続艇とは開いていたので、後で手直ししようと考えたのだが、ウドさんは「ナウ!ナウ!」とのこと。結果、時より強風でプレーニングするなか、ウドさんはフルハイク、僕はナイフを取り出し、デッキの中でゴソゴソ。細かい。こんなこと初めてである。オランダ人はワカラナイ。でも最後は二人でガッツポーズ。1位。この時点で優勝を確信。

最終レース

風はまだまだ上がってくる、西の空が気味悪い。天気予報通り、時より 12~13m/s のブローが入っている。最後は気分は上々であるが、安全を考え、セーリング。2位

次のレースもまた!今度は芦屋で!

今回、日本のテザーの公式戦で初めて優勝したこともあり、ウドさん自身は後の公式戦にはまたオランダが

ら来たいとのことです。 僕も稲毛フリート所属での最後のレースであり、後に残せるレースになりました。
ウドさんとまたの再会を約束して、稲毛を後にしました。



[写真： 宮本 哲生さん]

テーザースプリング レガッタ

高山 勝

2007年4月28日～29日 神奈川県・葉山沖にて テーザー級の「スプリングレガッタ」が行われた。34艇のエントリーも、実質の「関東選手権」の様子。今年7月、「テーザーワールド」がタイ・ブーケットで行われるに従い、それに参加出場チームの「前哨戦レース」、「練習レース」の様相であった。

初日は微風・強風のため2レース(DNF艇多数)。2日目は、風にも恵まれ、なんと「1日」で6レースの計8レース。結果的に初日の「連続DNF」艇の救済ともなった。

コンディションは土曜日、日曜日とも春の寒気あいみまれる不安定な気圧配置で第1レース以外は、一般的に、結構、6～10m/sほど吹いた。南西っぽい風のせいもあり、波、弱いうねりもありのコンディション。

テーザーは平均25ノット以上の風が吹くとノーレースとのこと。

そこまではいかないが皆、苦戦の様子、半艇ほどは男女混成チームなので起こすのも大変そう。第1レースは微風のため「タイムリミット」に多数の艇がひっかかり、後半は打って変わって強風のため「サバイバルレース」の様相を呈するほど。

皆さん、昨年よりのマイラーセールも板についてきてダクロンセールも相見まれよく走る。

しかし、やっぱりテーザーはマストがやわらかいせいか、特にマイラーセールのリーチは、開きぎみで、どうもパワーダウンする気配。

しゃあないかと我ら「高山、秋山チーム」のような男性チームはヘビー級のため、シリーズ通した強風も、なんのその。もっと吹けふけ状態。



結果は惜しくも我ら「BYC 琵琶湖」うたったチームで必勝を期しましたが、2位準優勝でした。

やっぱり、優勝は昨年全日本優勝チーム「小松、小川チーム」は男性チームの「重量級」であっても、「微風」の第1レースもをぶっちぎりのトップ・フィニッシュを決めるなど、コンスタントな走り、やはりはやい。テーザーを熟知しているというふう。全く他艇を寄せ付けん。自信に満ちておりました。

特筆すべきは、強風シリーズであったにもかかわらず、男女ペア・軽量チームの「平生チーム」が

3位入賞を果たしたこと。「アフター5」の「反省会」で彼らは今回「強風での走り」に開眼したとのこと。やはり、強風では「角度」よりも「スピード重視」が正解か。

反省会に出席してみて「やっぱりテーザーはレースも大事やけど、アフター5も、とっても大事」を実感した遠征でした。

次回も関西勢は頑張ります。今年は7月に芦屋で「西日本選手権」、8月に琵琶湖で行なわれるオープンレース「セール大津」が「びわこミッドサマー・レガッタ」と銘打ってテーザークラスの公式レースに。そして、9月には、なんと琵琶湖・柳が崎で、関西初の？「オータム・レガッタ」です。

これで、年間「6レース」の公式レースのうち「半数」の3レースが関西でも開催される予定です。このことは、09年の「和歌山ワールド」に向けて、関西勢にとっては、理事会の配慮に感謝でございます。「今年は、関西が熱い!？」

最後に。初日、「微風・強風」という気まぐれな風に翻弄されながら、DNFが多数出たにもかかわらず、手際よく全8レースを完遂されました「スプリング・レガッタ」運営の皆様にご感謝!!

(高山、秋山 琵琶湖ドリームチーム)



[写真: 田口 裕介さん, JTA 広報]

テーザースプリングレガッタ

スキッパーの鈴木明日美が高校2年生(16才)、クルーの酒井優紀が高校1年生(15才)、今年でそれぞれ17才と16才という非常に若い選手たちですが、テーザーセーラーの皆さんにご指導をいただきながら腕を磨いて、生涯スポーツとして長くヨットに親しんでくれることを祈っております。

ご参考までに、我々のクラブのホームページをご紹介します。

お時間のあるときにでもご覧いただけますと幸いです。

テーザーの活動はまだ始めたばかりなのでホームページにはまだ十分に情報を載せておりませんが今後充実させていくつもりであります。

http://www.geocities.jp/taiyaki_3des/

トピックスの上から3つ目にテーザーのスプリングレガッタのコメントがあります。ご参考までに。

KMC横浜ジュニアヨットクラブ

酒井秀夫

スキッパー 鈴木 明日美

私はこの大会が初めてのテーザーの大会でした。

葉山マリーナに着くともう既にたくさんのテーザーが並んでいました。その中には船の色が黄色や赤や水色の船があり、今まで自分以外のテーザーを見た事がなく、そんなカラフルなテーザーがある事を知らなかったのでも綺麗に思い、羨ましかったです。もし自分の船の色を選べるとしたら、自分だったら水色がいいかなぁ、と勝手に想像し、考えたりしていました。

また、ウィンドサーフィンのような透明なセールを実際に見たのも初めてでした。海上に出るとそれは、セールを通して向こう側の景色が見えるので、海と一体化したように走っており、後ろから、カッコいいヨットだな、と思いながら見ていました。以前から二人乗りのヨットに乗ってみたいと思っていた私にとっては、テーザーの艦装が揃っていてテーザーに乗れるということ自体とても嬉しかったのですが、やはり透明のセールに憧れました。

レース1日目については、「大変だった。」というのが素直な感想です。風が上がってきてすぐに、レーススタートだったので、走れるところまで走ろうと無我夢中でなんとか走っていましたがよく考えると、テーザーの沈の起こし方を1度も練習したことがなかったので、もし沈をしていたら起こせなかったと思います。いつ沈をしてもおかしくない状況の中で、無事ハーバーまで帰れたのは途中でレスキューして下さった大学生のおかげでした。本当に感謝です。

2日目は1日目に比べて、風は安定していて自分達の体重でも走ることが出来ました。

乗っていてとても気持がよく、自分ではスピードが出ていて速く感じていましたが、周りを見ても他の船はさらにずっと速く、それに角度もあり、技術の差を身を持って感じました。

それでもなんとかついて行こうと、レース中近くに船がいるときには、見て乗り方を真似してみたり、どこが違うのかを考えるようにして乗っていました。他のテーザーと走り比べたことがなかったのでとても勉強になりました。

そして陸上では、艦装やセッティングの仕方がまだよくわからない私たちにたくさんの方達が丁寧に教えて下さったり手伝って下さったりと、とても親切にして頂きたくさんを学びました。

本当にありがとうございました。

今回学んだ事を忘れずに、練習を積み、次回のレースに向けて頑張りたいと思います。



クルー 酒井 優紀

私はこの大会で初めてテーザーに乗りました。

また、いきなり出場が決定した事もあってマストの立て方もセールの見方もなにもかも全く分からないままの出場だったので、すごく不安な気持ちでいっぱいでした。

1日目は風がとても強くて、とにかく大荒れでした。

強風の乗り方を知らなかった私はハイクアウトする事で精一杯で、ジブもまともにひけない状態でした。

また、OPの時とは違い、船もセールも大きいので、ハイクアウトしても船が思うように起きずとても大変でした。

結局、大学生の方に助けていただき無事ハーバーに帰ってくる事が出来ました。

きっと大学生の方に助けてもらわなかったら、遭難していたんじゃないかと思います。

2日目は、風の強さが安定していて前日に比べてとても乗りやすかったです。

1日目は一度もレースを完走する事が出来なかったけれど、2日目は全レース完走する事が出来ました。

また、ほかの選手の方たちの走りを見て、いろいろと学ぶ事が出来ました。

この大会を通じて感じたことは、まずクルーの大変さです。

クルーは常に周りの状況を把握し、またそれをスキッパーに伝えないといけないのですごく気が抜けないポジションなんだなぁと思いました。

でもその情報交換が自分たちの走りにつながるんだと思いました。

また、陸上では他の選手の方達と交流ができ、すごく楽しかったです。

初めてのレースですごく大変でしたが、たくさんの方達が助けてくれたおかげでかけがえのない勉強になりました。

本当にありがとうございました。

これからはたくさん練習をして、技術を磨き、いつか世界選手権に出場してみたいです。

そしてどんな事も笑顔で乗り切れるパワフルな選手になりたいです。

[写真： 田口 裕介さん]

西日本選手権レポート

河野 信司

皆様、お久しぶりです。大阪北港 2668 の河野信司です。

お前なんて知らないとおっしゃる方も沢山おられるかと思いますが、それもそのはず数年前の稲毛全日本を最後に公式レースから遠ざかっておりまして(津全日本にはクルーで出ましたが...)、しかも年に数回乗ればいいという状況でしたので致し方ないと思います。

今回はかの有名な小沢さんからお声を頂いた事から出場出来る事になりました。そもそも西日本選手権の存在すら頭に無かったので、慌てて前の週に小沢さんと初乗り相成った次第であります。

練習は芦屋テザーフリートレースに混ぜて頂き、久方ぶりの感覚を楽しんで乗ることが出来ました。やはり2705 植田艇(ダクロン)にはなかなか勝てずイライラしましたが、ただ他艇マイラーセールにさほどパワーを感じなかったのも事実で、大したことないやん...これならダクロンで抑えれそう...と密かにほくそ笑んでいたのです。そう！マイラーセールと走ったのは今日が初めてなんです...

今回は芦屋に置かれている高山さんの艇 2616(ダクロン)をお借りすることが出来ました。感謝感謝...

当日は練習の時と似通った海面状況で微風...吹かれると嫌だったのでルンルンでレース海面へ。結局最終レースで少し吹き上がっただけで後は軽風のレースとなりました。

全体的に予想通り2705 植田艇 2810 川瀬艇 2653 多田艇との争いになりました。マイラー(2810.2653)とダクロン(2705.2616)の対決は今回はダクロンの勝ち！となりました。

今回は殆ど艇を走らせる事しか考えず、目が覚めたら「優勝？」と言う感じ...ではありませんでしたが、小沢流コース引きを存分に楽しませていただきました。優勝も嬉しかったのですが私がテザーに一番乗り込んでいた2230に再び出会えた事が一番嬉しい事でした。それも女子高生に乗って貰えるなんて！少し重い艇ではありますが、よく走る良い艇なのでいつまでも可愛がって欲しいですね。

最後になりましたが運営諸関係方々、本当に有難う御座いました。またいつか皆様とお会い出来る日を楽しみにしております。

一年ぶりに乗って、優勝出来て、幸せです(^o^)v~~~~

西日本選手権レポート

小沢 拓身

久しぶりの西日本選手権出場である。

今回は北港の河野クンにお相手してもらった。

2シーズンほど前はあれほど熱心に乗っていた河野クンであるが、最近すっかりご無沙汰している。気になって北港の池田さんに出場の打診をしてもらった。

二つ返事でOKである。彼もウズウズとした想いを溜めていたに違いない。

スキッパー登録はボクであるが、ヘルムスは河野クンにお願いした。

早速、時間を打ち合わせ、前週日曜日に練習をすることにした。

練習当日、ハーバーに現れた河野クンと久しぶりの対面。変わらず白い歯が輝いていた。「ム、ム,mummu」「そうだ、彼はレーサーなのだ。」

旧交を温めに来たのではない。彼はレースを欲しているのだ。

「さあ、大変。」

ボクのレースモードは休止状態なのだ。もう何年もアドレナリンを噴出させたことがない。彼の情熱に水を掛けるようなことはしたくない。

幸い、日ごろから身体を動かしていることで、体力に対する不安はない。精精しっかりとハイクアウトだけはしたい。

事前にヘルムスとフォアハンドの役割分担を話し合う。

ヘルムスに求められる能力の一つに、集中力が上げられると思う。今、自分が舵を引いているボートが「気持ちよく。」走っているのかどうか。五体全て、五感否六感をも動員して走りに集中できる集中力とその持久力だ。一方フォアハンドに求められる能力は多岐にわたっている。戦術、戦略的なレース核心部分から、ボートバランスコントロールなど…。

常々、ヘルムスとフォアハンドの関係は、野球のバッテリーに似ていると思っている。

ピッチャーの持ち球を生かすも殺すもキャッチャーのインサイドワークに掛かっているのだ。

その中でボクが今回一番重要視したのが、「ヘルムスのお守り」だ。

初めての乗艇となる河野クンには気分良く走ってもらいたかった。レース中のヘルムスとはセンシティブな人種である。自分の土俵、自分の描いている世界でないと本領を発揮できないのである。競争相手からのストレスだけでなく、自艇の中からストレスを感じていたのでは到底自分の土俵には昇れないのである。その意味で、セッティングを含め全て「河野流」を貫いてもらった。案の定、ボクのこれまでの「やり方」とは幾つか違っていた。

特にルーズなセッティングには正直驚き、戸惑い、また、楽しみでもあった。

セーリング理論を論じ合う場ではない。意義を挟む理由などない。河野くんには気持ちよく走ってもらえれば、それでいいのだ。



海上練習も、幾つかの修正点はあったものの、我ながらフォアハンドワークもソツなくこなし初めての乗り合いにしては上出来だ。

河野クンもブランクを感じさせない安定した舵さばきを見せてくれる。

レース当日、予定時間にハーバーに着くと、もう艀装を終えて待っている河野クンの姿があった。今日は又、一段と白い歯が光っている。燃えているのだ。

その分自分は冷静にならなくては、フォアハンドにアドレナリンは不必要だ。

軽風の中、捨てなしの3レースが始まった。

結果は、軽風で圧倒的なパフォーマンスを見せる植田夫妻、やはり軽風を得意とする「いぶし銀」多田/割石チーム、学連で成らした川瀬夫妻を抑えて我々が勝利を掴むこととなった。上位4チームの得点差は2点、更に2位の多田さんとの差は何と0,5点という非常に拮抗としたレース内容ではあったにも拘らず、一度も冷静さ失わず、それぞれの持ち場を全う出来たことに満足している。又、久しぶりのレースらしいレースを堪能させていただいた皆さんに感謝申し上げます。

表彰式で見せた河野クンの白い歯は益々輝き、お陰でボクのヤニで黄ばんだ歯も幾分か輝いていたのでは。

河野クン、ありがとう。

[写真：安澤 厚男さん]

2007年全日本選手権を終えて

2572 軽部 香/竜也

10/6～10/7 稲毛ヨットハーバーにおいて全日本選手権が行われました。

レース前

全日本前の練習でピンドルが折れたため、新品のラダーヘッドを大会当日に受け取り、取り付けたもののラダーピンがガジョンにささらない。ガジョンを曲げたり、やすりで削ったりと大慌て。みんながどんどん出艇していく。

我々のレースの始まりはいつもこんな感じです。田中郁也さんの協力を得て、何とかラダーがささり、ようやく出艇できました。

1R 北風4から5m/s

北風なので本部船までが遠い。何とかスタートラインに到着したが、P旗がすでに掲揚されている。

有利なエンドもわからないままとあえずスタート！って、メインが降りてきてるっ！

何とかメインをあげようとがんばるが、ゴムボートにレスキューを頼む。横目で田中夫妻ペアがTOPを快走している。まあ、我々のレースではよくあるトラブルだ。全日本1R目からDNFか……。

2R 北風4から5m/s

ようやくセールをあげて出艇、と思いきや、「トイレに行って来ていい？」とマイペースなクルー。「マジかよ……」と思いつつ、「いいよ」と答える。

スタートラインには比較的余裕を持って到着。

海面をみて、考えていたことは2つ。

稲毛の浜からのブローは超巨大で約10分間隔で降りてくるから、上1からスタートしよう。

ハーバー河口付近の上マークがある場合、今まで走っていたのとは、まったく違う風が、河口から吹いてくるから、右のエンドに出るのはやめとこ。

というわけで、上1からロケットスタート！！。女子高生コンビも私たちの3艇身風下からロケットスタートをしていた。

「若いからって調子に乗るんじゃないわよぉ～」と追いかける。

ロケットスタートが功を奏しTOPフィニッシュ！

3R

コースを少し長めに打ち変え、第3レースが始まります。

このレースで考えたことは

天気が晴れたり、曇ったり……。風が弱くなりそうだ。

風が止まったときの、ブローの吹き出し口を要チェック。

また、全日本前の最後の練習で稲毛の大西兄貴が教えてくれた「攻めるフリー走行」が大変役に立った。

風がなくてもヨットを止めない走行が少しだけわかるようになりました。

サイド - 下間では、プロパーコースを大きく外れても、上側から来ていたブローを取りに行き、サイド - 下で約15 番程順位を上げた。

ブローの噴出し口をいろいろとチェックしていた甲斐がありました。

クローズでも順位を上げ、3位でフィニッシュ。まだまだ首の皮一枚つながったまま、初日を終えた。

レセプションパーティ

ジブセールがあたるくじ引き大会は大いに盛り上がった。割石さんがジブセールをゲットした。

3R 終了の時点で暫定1位の平生さんに、「明日はブラックに引っかからないようにねえ〜。」などと悪態をつき、海上では歯が立たないので、陸上でプレッシャーをかける。

ここから第2日目はクルーがレポートします。

2日目になって天気は晴れ時々曇り。風は南西方向の微軽風で、初日よりは控えめながらまた振れ振れのコンディションといった感じです。

第4レースは下スタート。スタート前に風が左に振れてきて、デッドラインギリギリ(というか無理やり)のスタートになってしまいました。上側のルームが空いたところでタックするとそのままポート一本のコー



スに見えます。ポジションはそれほど悪くないところにいますが、下の艇団に若干先行されているかといった様子。今日もこまめにシフトがはいる海面なので、一本コースとは言っても、シフトを見過ぎて走っているとアツという間に逆転したりされたりです。ということで大きく下振れがはいったところでタック。しばらく走るとまた下振れでタック。これでだいたいトップポジションに立てました。後ろの艇団との差はほとんどありませんが、そのままサイド下と回ったところで、すぐ後ろにいるのは田中夫妻艇です。ちょっとでもミスしようものなら抜かれそうなプレッシャーを後ろから感じながら、なんとか抑えのポジションをキープしようとはしますが、最後のマークアプローチで目を離していたら、上マークで下側インにはいられそのまま並んでマーク回航です。結局そのままノージャイブで下側に入られたまま下マークまで行き、水を与えることになってしまいました。また次のクローズで勝負!と思っていたのは我々だけで、田中艇は下に流れていきます。「へっ?超ラッキー。水あいた!」と思い意気込んでラフィングしますが、その時本部船に掲げてある数字旗は「2」…。すぐ後ろからくる金子夫妻チームも落としていくのを見てやっと気がつきました。金子艇に下から抜かれますが、このまま行っても負けるだけなので、風がやや後ろから来てるのを確認してウイスキーアップ。うまくブランケットに入れることもできなんとかパウ先を並べてフィニッシュです。本部船では我々のリコールナンバーを先に呼んでるのが聞こえ、なんとか2位は死守できましたようです。

第5レースはコースを打ち変えてからのスタートです。ゼネリコの後、恐怖のブラッグフラッグ掲揚です。これ以上カットレースを作れない我々にとっては絶対に引っかかってはならないところです。慎重に行くことをスキッパーとも確認して、上側からのスタートを狙い…って思ってたなら、ライン近すぎ、狙いすぎです。リコールギリギリか、非常に際どいところ。でもスタートしてしまったからにはもう進むしかありません。これが BFD だったかどうかはトップホーンが鳴るかどうかでしか判断できません。「トップフィニッシュするしかねえ…」と思いながら走りますが、1

上では秋山・石丸チームと多田・割石チームに先行されて3位回航です。上サイドは軽量の2チームにじわじわと離されながらなんとかついていきます。次の2上では先行の2艇の位置を常に確認しながら、シフトに合わせてタックを打っていきます。結果、上マークでなんとかトップに立ち、そのまま下マークまでキープです。さて運命のフィニッシュラインでは、忘れていたリコール審判が待っていました。我々がラインを切ったと思ったところで、ホーンが鳴らない。「あ、やっぱりコールだったか・・・」と思った次の瞬間、フォーン。なんとか首の皮がつながった気分です。

さてこれで不良債権(第1レースのDNF)処理が済み、次の最終レースで勝負できるところまでもってこれました。周りのチームの点数計算は詳しくはしてませんがこの時点でおそらく我々がトップでしょう。とにかく次のレースを大崩れすることなく上位でまとめればもしかすると・・・などと考えてしまいそうになりますが、色々考えてもやることは同じです。

最終レースはわりと淡々とした気分でレースしてました。普通にスタートして、これまでと同じくどっちの海面に突っ込むということなく、風のシフトに合わせて、また艇団との位置関係を見ながらタックを返しながらか上マークに向かうと本吉・高山チームに続いて2位回航。そのままサイド下を2位キープで走り、2上でトップに立ちます。最後のランニングは風が落ち、じりじりしましたが、なんとかそのまま下マーク回航し、フィニッシュラインへ。そうして今回3回目のトップホーンを鳴らし、優勝が決まりました。

今回の全日本を振り返ってみると、特にどちらかの海面を選ぶということはなく、とにかく風のシフトにあわせてマーク方向に対してマイナスを走らないコースをひいてました。稲毛の場合、遠くの強いブローのあるところまでとことん突っ込むコースをひいた方が良くもあるので、もうちょっと走ってからタックした方が良かったかな、などと思うことがないわけではなかったのですが、大きくヘッダーが入った時は躊躇なくタックしていったことが結果的には良かったようです。今回のような振れ振れのコンディションで根気強く(めずらしく文句も言わず)、スピードを落とさずに走ってくれたスキッパーにも感謝です。

微軽風に終始したシリーズでしたので、いまいちセーリングにはもの足りないコンディションだったかもしれません。ただ風が弱い分、海面を見る時間はたっぷりあったので、とにかく海面をにらみ続け、風を探し続け、コースを考え続けました。うまくいっても外しても、最後まで神経を張りめぐらして走るといことに集中し続けていたら、気がついたら優勝していたといった感じです。

とにかく頭が疲れた全日本選手権でした。

[写真: 小川 修さん]

2006年度 テーザーミッドウィンターレガッタ

2007年2月18日 千葉県・稲毛ヨットハーバー

総合成績

Pos	Sail No	フリート	クラス	スキッパー	クルー	1R		2R		3R		4R		Total
						順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
1	2735	稲毛	M	Constantin Udo	宮本哲生	3	3	1	1	1	1	2	2	7
2	2761	葉山		小松充	小川雅	8	8	2	2	3	3	1	1	14
3	2396	葉山	M	山本晴之	伊藤雄一郎	6	6	3	3	9	9	5	5	23
4	2572	稲毛		軽部香	軽部竜也	4	4	8	8	11	11	3	3	26
5	2706	葉山		伊藤由	石丸寿美子	10	10	6	6	6	6	4	4	26
6	2593	稲毛		亀山寛達	井上敦	13	13	5	5	2	2	7	7	27
7	2707	浜名湖	GM	石塚恒志	白岩道孝	9	9	4	4	4	4	11	11	28
8	2676	稲毛	M	金子文雄	田中真人	1	1	9	9	5	5	RAF	16	31
9	2669	稲毛	M	平生純一郎	平生進一	2	2	12	12	10	10	8	8	32
10	2809	浜名湖	M	蜂須賀強	野口・杉田	7	7	11	11	8	8	6	6	32
11	2768	葉山		久礼嘉伸	金子直樹	5	5	7	7	12	12	10	10	34
12	2720	葉山		岡 誠	建内満	12	12	13	13	7	7	12	12	44
13	2715	その他		大西隆浩	河合潤	DNF	16	10	10	13	13	9	9	48
14	2732	江ノ島		星野直広	松川護	11	11	DNS	16	DNC	16	DNC	16	59
15	2708	葉山		荒島謙治	町田亜紀	DNS	16	14	14	DNS	16	DNC	16	62

マスタークラス成績

Pos	Sail No	フリート	クラス	スキッパー	クルー	1R		2R		3R		4R		Total
						順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
1	2735	稲毛	M	Constantin Udo	宮本哲生	3	3	1	1	1	1	1	1	6
2	2676	稲毛	M	金子文雄	田中真人	1	1	3	3	2	2	RAF	6	12
3	2396	葉山	M	山本晴之	伊藤雄一郎	4	4	2	2	4	4	2	2	12
4	2809	浜名湖	M	蜂須賀強	野口・杉田	5	5	4	4	3	3	3	3	15
5	2669	稲毛	M	平生純一郎	平生進一	2	2	5	5	5	5	4	4	16

グランドマスタークラス成績

Pos	Sail No	フリート	クラス	スキッパー	クルー	1R		2R		3R		4R		Total
						順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
1	2707	浜名湖	GM	石塚恒志	白岩道孝	1	1	1	1	1	1	1	1	4

2007年度 テーザー級 スプリングレガッタ

総合成績

2007年4月28日～29日 神奈川県・葉山

Pos	Sail No	Skiper	Crew	Crew	Fleet	Class	第1レース			第2レース			第3レース			第4レース			第5レース			第6レース			第7レース			第8レース			Total	Cut	Net
							着順	反則	得点	着順	反則	得点																					
1	2761	小松 充	小川 雅		葉山		1		1	1		1	2		2	1		1	14		14	2		2	4		4	1		1	26	18	8
2	2663	高山 勝	秋山 紀夫		琵琶湖	M	2		2	2		2	13		13	11		11	OCS	36	3		3	1		1	5		5	73	49	24	
3	2669	平生 純一郎	平生 玲子		稲毛		3		3	5		5	1		1	7		7	7		7	15		15	2		2	OCS	36	76	51	25	
4	2725	池田 俊則	秋吉 すみこ		大阪北港	M		OCS	36	4		4	5		5	12		12	3		3	12		12	6		6	4		4	82	48	34
5	774	本吉 謙治	関口 真秀		葉山	M	11		11	DNF	36	4		4	5		5	1		1	8		8	8		8	OCS	36	109	72	37		
6	2653	多田 幸男	割石 順子		大阪北港	SGM	10		10	7		7	12		12	8		8	4		4	4		4	9		9	10		10	64	22	42
7	2768	久礼 嘉伸	金子 直樹		葉山		4		4	11		11	19		19	9		9	18		18	7		7	15		15	2		2	85	37	48
8	2671	小林 昌弥	内田 勝久	阪井 祐介	葉山		7		7	DNC	36	3		3	25		25	8		8	16		16	3		3	11		11	109	61	48	
9	2706	伊藤 由	石丸 寿美子		葉山	M	13		13	DNF	36	7		7	13		13	11		11	6		6	11		11	3		3	100	49	51	
10	2396	宮下 知之	山下 和伸		葉山		12		12	8		8	14		14	3		3	5		5	11		11	16		16	14		14	83	30	53
11	2621	山下 栄輝	山下 陽子	松田 浩一郎	葉山	M		DNF	36	6		6	11		11	14		14	10		10	9		9	10		10	8		8	104	50	54
12	2593	龜山 寛達	井上 敦		稲毛			OCS	36		DNF	36	9		9	16		16	16		16	5		5	5		5	7		7	130	72	58
13	2662	小沢 拓身	山崎 真一		琵琶湖	M	5		5	DNF	36	16		16	4		4	12		12	13		13	12		12	OCS	36	134	72	62		
14	2720	岡 誠	加野 靖紀		葉山		9		9	9		9	25		25	24		24	9		9	17		17	13		13	9		9	115	49	66
15	2572	軽部 香	軽部 竜也		稲毛			DNF	36		DNC	36	8		8	2		2	30		30	23		23	7		7	6		6	148	72	76
16	2676	金子 文雄	金子 ルミ		稲毛	GM		DNF	36		DNF	36	10		10	6		6	6		6	1		1	19		19		DNF	36	150	72	78
17	2709	野嶋 嘉昭	高橋 夏樹		葉山			DNF	36	3		3	20		20	17		17	2		2	10		10		DNF	36		DNF	36	160	72	88
18	2764	中西 英貴	中西 美紀		芦屋			DNF	36	12		12	26		26	18		18	15		15	22		22	23		23	15		15	167	62	105
19	2707	白岩 道孝	坂根 勝郎		浜名湖	GM		DNF	36		DNF	36	17		17	15		15	17		17	27		27	17		17	13		13	178	72	106
20	2073	富田 亮二	石内 寿子		稲毛		8		8	DNF	36	15		15	19		19	28		28	20		20	18		18		DNF	36	180	72	108	
21	2749	野口 優	杉田 智宏		その他			DNF	36		DNF	36	24		24	21		21	19		19	18		18	14		14	12		12	180	72	108
22	2809	蜂須賀 強	蜂須賀 陸斗		浜名湖			DNF	36		DNC	36	6		6	20		20	13		13	19		19	20		20		DNF	36	186	72	114
23	2675	安原 実郎	戸田 隆久		葉山	SGM	6		6	DNC	36	18		18	22		22	23		23	14		14		DNF	36		DNF	36	191	72	119	
24	2552	大橋 武史	田中 剛	武田 崇宏	葉山			DNF	36		DNF	36	22		22	23		23	22		22	21		21	24		24	16		16	200	72	128
25	2748	石原 裕二	本間 威		葉山	M		DNF	36	10		10	27		27	30		30	27		27	26		26	22		22	17		17	195	66	129
26	2806	村尾 隆	津田 展明	杉浦 琴	江ノ島			DNF	36		DNF	36	23		23	10		10	26		26	24		24	27		27		DNF	36	218	72	146
27	2230	鈴木 明日美	酒井 優紀		その他			OCS	36		DNF	36	28		28	26		26	25		25	29		29	21		21	19		19	220	72	148
28	2203	外石 満	矢柴 明美		葉山			DNF	36		DNC	36		OCS	36	28		28	21		21	28		28	26		26	18		18	229	72	157
29	2466	高橋 徹	長澤 治		江ノ島	M		DNF	36		DNF	36	29		29	29		29	20		20	25		25	25		25		DNF	36	236	72	164
30	2708	野本 雅史	寶地 卓	永尾 岳志	葉山			DNF	36		DNS	36	30		30	27		27	32		32	31		31	29		29	20		20	241	72	169
31	2660	佐藤 和紀	掛川 宏		芦屋			DNF	36	13		13	32		32	33		33	29		29	33		33		DNS	36		DNF	36	248	72	176
32	2605	新井 実	大場 健介		稲毛	M		OCS	36		DNF	36	21		21	32		32	24		24	30		30		DNF	36		DNF	36	251	72	179
33	2534	児島 克博	鈴木 章弘		芦屋			DNF	36		DNF	36	31		31	31		31	31		31	32		32	28		28		DNF	36	261	72	189
34	2808	石川 洋二	細田 恵利子		葉山	M		DNF	36		DNF	36		DNC	36		DNF	36		DNF	36	288	72	216									
34	2609	荒島 謙治	町田 亜紀		葉山			DNF	36		DNS	36		DNC	36		DNF	36		DNF	36	288	72	216									

2007年度 第18回テザー西日本選手権

総合成績

2007年7月8日 兵庫県・芦屋マリンセンター

Pos	Sail No	フリート	スキッパー	クルー	1R		2R		3R		Total	Cut	Net
					順位	得点	順位	得点	順位	得点			
1	2616	琵琶湖	小沢 拓身	河野 信司	4	4	1	1	2	2	7	0	7
2	2653	大阪北港	多田 幸男	割石 順子	2	2	2	2	3	3	7	0	7
3	2705	芦屋	植田 泰平	植田 典子	1	1	3	3	4	4	8	0	8
4	2810	芦屋	川瀬 隆	川瀬 実花	3	3	5	5	1	1	9	0	9
5	2738	大阪北港	三輪 記裕	太田 準介	8	8	4	4	9	9	21	0	21
6	2725	大阪北港	池田 俊則	秋吉 すみこ	6	6	9	9	6	6	21	0	21
7	2764	芦屋	中西 英貴	中西 美紀	7	7	7	7	7	7	21	0	21
8	2615	葉山	田口 祐介	石丸 寿美子	5	5	8	8	11	11	24	0	24
9	2735	芦屋	臼杵 辰朗	宮本 哲生	9	9	10	10	5	5	24	0	24
10	2555	芦屋	渡辺 克充	菊岡 祐司	DNS	16	6	6	8	8	30	0	30
11	423	その他	中村 博士	西村 美紀	11	11	11	11	12	12	34	0	34
12	2230	その他	鈴木 明日美	酒井 優紀	10	10	12	12	13	13	35	0	35
13	2534	芦屋	児島 克博	鈴木	13	13	15	15	10	10	38	0	38
14	2143	その他	池田 光孝	大串 英宣	12	12	14	14	14	14	40	0	40
15	2660	芦屋	佐藤 和紀	臼井 由利子	14	14	13	13	15	15	42	0	42

天候
風向
風速

晴れ
210°
2.0m/s

晴れ
220°
4.0m/s

晴れ
240°
5.0m/s

2007年度 テーザー江ノ島ミッドサマーレガッタ

総合成績

2007年8月18日 神奈川県・江ノ島ヨットハーバー

Pos	Sail No	フリート		スキッパー	クルー1	クルー2	1R		2R		3R		4R		5R		Total
							着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	
1	2669	稲毛		平生 純一郎	平生 玲子		1	1	5	5	1	1	7	7	4	4	11
2	2676	稲毛	GM	金子 文雄	金子 ルミ		3	3	3	3	5	5	1	1	6	6	12
3	2762	江ノ島		赤井 寛	赤井 明日香	赤井 遥	2	2	2	2	6	6	8	8	11	11	18
4	2565	その他		小林 通博	関口 真秀		4	4	12	12	2	2	9	9	3	3	18
5	2593	稲毛		亀山 寛達	井上 敦		7	7	9	9	7	7	3	3	2	2	19
6	2768	葉山		久礼 嘉伸	渡辺 さおり		5	5	1	1	3	3	11	11	OCS	25	20
7	2709	葉山		野嶋 嘉昭	宮下 知之		10	10	10	10	9	9	4	4	1	1	24
8	2720	葉山		建内 満	金子 直樹		20	20	4	4	4	4	2	2	14	14	24
9	2761	葉山		小松 充	小松 俊介		11	11	24	24	11	11	5	5	8	8	35
10	2749	江ノ島		野口 優	杉田 智宏		8	8	6	6	10	10	OCS	25	12	12	36
11	2621	葉山		山下 栄輝	杉浦 琴		9	9	7	7	13	13	14	14	7	7	36
12	2736	稲毛		山村 太郎	池田 陽平		12	12	17	17	8	8	22	22	5	5	42
13	2708	葉山		高松 慎吾	小松 利英		17	17	11	11	12	12	6	6	19	19	46
14	2652	江ノ島	SGM	山分 信	田口 公一		16	16	13	13	14	14	10	10	9	9	46
15	2615	葉山	M	田口 裕介	山下 朝子		14	14	8	8	21	21	12	12	15	15	49
16	2806	江ノ島	M	村尾 隆	津田 展明		6	6	18	18	17	17	16	16	13	13	52
17	2230	その他		鈴木 明日美	酒井 優紀		15	15	15	15	18	18	OCS	25	10	10	58
18	2732	江ノ島		星野 直広	村上 誠一郎	松川 護	13	13	14	14	20	20	17	17	17	17	61
19	2808	葉山	M	石川 洋二	細田 恵利子		24	24	16	16	19	19	13	13	21	21	69
20	2671	葉山		内田 勝久	相葉 基夫		18	18	19	19	16	16	20	20	18	18	71
21	2466	江ノ島	M	高橋 徹	千波 範高		19	19	23	23	23	23	15	15	20	20	77
22	2748	葉山	M	本間 威	石原 裕二		22	22	21	21	15	15	19	19	22	22	77
23	2609	葉山		大橋 武史	矢柴 明美		21	21	20	20	22	22	21	21	16	16	78
24	2211	江ノ島		佐々木 和人	桜井 勇人		23	23	22	22	24	24	18	18	23	23	86

2007年度 テーザー江ノ島ミッドサマーレガッタ

マスタークラス成績

2007年8月18日 神奈川県・江ノ島ヨットハーバー

Pos	Sail No	フリート	M	スキッパー	クルー1	クルー2	1R		2R		3R		4R		5R		Total
							着順	得点									
1	2615	葉山	M	田口 裕介	山下 朝子		2	2	1	1	4	4	1	1	2	2	6
2	2806	江ノ島	M	村尾 隆	津田 展明		1	1	3	3	2	2	4	4	1	1	7
3	2808	葉山	M	石川 洋二	細田 恵利子		5	5	2	2	3	3	2	2	4	4	11
4	2748	葉山	M	本間 威	石原 裕二		4	4	4	4	1	1	5	5	5	5	14
5	2466	江ノ島	M	高橋 徹	千波 範高		3	3	5	5	5	5	3	3	3	3	14

2007年度 テーザー琵琶湖ミッドサマーレガッタ

総合成績

2007年8月26日 滋賀県大津市・滋賀県立柳ヶ崎ヨットハーバー

Pos	Sail No	フリート	スキッパー	クルー1	クルー2	1R		2R		Total
						着順	得点	着順	得点	
1	2663	琵琶湖	秋山 紀夫	石丸 寿美子		1	1	1	1	2
2	2725	大阪北港	池田 俊則	秋吉 すみこ		2	2	4	4	6
3	2764	芦屋	中西 英貴	中西 美紀		4	4	5	5	9
4	2676	稲毛	金子 文雄	赤井 寛	金子 ルミ	3	3	7	7	10
5	2738	大阪北港	三輪 記裕	太田 準介		5	5	6	6	11
6	2723	琵琶湖	小沢 拓身	長野 国比古		OCS	12	2	2	14
7	2808	葉山	石川 洋二	宮下 知之		OCS	12	3	3	15
8	2230	その他	鈴木 明日美	酒井 優紀		7	7	9	9	16
9	2396	葉山	山本 晴之	天田 和伸		8	8	8	8	16
10	2662	琵琶湖	本吉 譲治	高山 勝		6	6	OCS	12	18
11	2534	芦屋	児島 克博	佐藤 和紀		9	9	10	10	19

2007年度 テーザーオータムレガッタ

総合成績

2007年9月23日 滋賀県・柳が崎ヨットハーバー

Pos	Sail No	フリート	クラス	スキッパー	クルー	1R		2R		3R		Total
						着順	得点	着順	得点	着順	得点	
1	2663	琵琶湖	M	秋山 紀夫	石丸 寿美子	3	3	1	1	1	1	5
2	2395	琵琶湖	GM	本吉 譲治	高山 勝	1	1	2	2	3	3	6
3	2653	大阪北港	GM	多田 幸男	秋吉 すみこ	2	2	3	3	2	2	7
4	2662	稲毛	GM	金子 文雄	金子 ルミ	4	4	5	5	8	8	17
5	2709	葉山	M	野嶋 嘉昭	宮下 知之	6	6	4	4	7	7	17
6	2720	葉山	一般	建内 満	岡 誠	8	8	6	6	6	6	20
7	2809	浜名湖	一般	蜂須賀 強	蜂須賀 陸斗	7	7	12	12	4	4	23
8	2723	琵琶湖	SGM	小沢 拓身	長野 国比古	5	5	8	8	10	10	23
9	2738	大阪北港	一般	三輪 記裕	角林 寛行	9	9	OCS	15	5	5	29
10	2806	江ノ島	M	村尾 隆	津田 展明	10	10	9	9	12	12	31
11	2230	その他	一般	鈴木 明日美	酒井 優紀	OCS	15	7	7	11	11	33
12	2768	葉山	一般	久礼 嘉伸	町田 亜紀	11	11	OCS	15	9	9	35
13	2808	葉山	M	石川 洋二	細田 恵利子	12	12	11	11	13	13	36
14	2708	葉山	一般	高松 慎吾	武田 崇宏	13	13	10	10	14	14	37

第22回 テーザー級全日本選手権大会

2007年10月6日～7日 千葉県・稲毛ヨットハーバー

総合成績

Pos	Sail No	フリート	クラス	スキッパー	クルー	クルー	1R		2R		3R		4R		5R		6R		Total	Cut	Net
							着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点			
1	2572	稲毛		軽部 香	軽部 竜也		DNF	42	7	1	3	3	2	2	7	1	7	1	50	42	8
2	2761	葉山		小松 充	小川 雅		2	2	6	6	7	1	5	5	17	17	4	4	35	17	18
3	2669	稲毛		平生 純一郎	平生 玲子		3	3	2	2	2	2	8	8	5	5	12	12	32	12	20
4	2676	稲毛	GM	金子 文雄	金子 ルミ		4	4	8	8	24	24	3	3	6	6	3	3	48	24	24
5	2706	琵琶湖	M	秋山 紀夫	石丸 寿美子		6	6	4	4	11	11	6	6	3	3	8	8	38	11	27
6	2653	大阪北港	SGM	多田 幸男	割石 順子		16	16	9	9	9	9	4	4	2	2	7	7	47	16	31
7	2395	葉山	GM	本吉 譲治	高山 勝		14	14	5	5	4	4	13	13	10	10	2	2	48	14	34
8	2765	稲毛	M	田中 郁也	田中 紀子		7	1	16	16	20	20	7	1	28	28	5	5	71	28	43
9	2725	大阪北港	M	池田 俊則	秋吉 すみこ		22	22	12	12	8	8	11	11	7	7	6	6	66	22	44
10	2736	稲毛		山村 太郎	池田 陽平		10	10	3	3	32	32	14	14	11	11	14	14	84	32	52
11	2707	浜名湖	GM	石塚 恒志	白岩 道孝		5	5	23	23	17	17	7	7	4	4	19	19	75	23	52
12	2205	その他		廣瀬 一貴	酒井 秀夫		DNF	42	13	13	10	10	10	10	9	9	10	10	94	42	52
13	2663	琵琶湖		小沢 拓身	井上 薫		18	18	19	19	6	6	17	17	8	8	13	13	81	19	62
14	2230	その他		鈴木 明日美	酒井 優紀		32	32	18	18	7	7	22	22	15	15	17	17	111	32	79
15	2396	葉山		山本 晴之	山口 剛史		13	13	7	7	18	18	32	32	18	18	27	27	115	32	83
16	2593	稲毛		亀山 寛達	井上 敦		8	8	31	31	15	15	16	16	25	25	23	23	118	31	87
17	2821	その他		戸室 宣房	戸室 海一郎		23	23	10	10	14	14	21	21	19	19	24	24	111	24	87
18	2738	大阪北港		三輪 記裕	太田 隼介		12	12	33	33	26	26	9	9	13	13	28	28	121	33	88
19	2809	浜名湖		蜂須賀 強	大河 悠一		20	20	28	28	23	23	20	20	12	12	16	16	119	28	91
20	2073	稲毛		富田 亮二	石内 寿子		15	15	17	17	BFD	42	24	24	27	27	9	9	134	42	92
21	2715	稲毛		大西 隆浩	河合 潤	吉岡 晃伸	17	11	20	20	29	29	23	23	16	16	22	22	121	29	92
22	2245	稲毛		岩崎 正城	大津留 健人		17	17	22	22	16	16	26	26	14	14	37	37	126	31	95
23	2565	その他		牛谷 悦子	関口 真秀		36	36	15	15	30	30	15	15	21	21	15	15	132	36	96
24	2709	葉山	M	野嶋 嘉昭	宮下 知之		7	7	32	32	12	12	30	30	30	30	27	27	132	32	100
25	2768	葉山		久礼 嘉伸	金子 直樹		OCS	42	24	24	37	37	18	18	24	24	17	17	150	42	108
26	2671	葉山		内田 勝久	小林 昌弥	阪井 祐介	9	9	11	11	36	36	19	19	BFD	42	37	37	154	42	112
27	2652	江ノ島	SGM	山分 信	田口 公一		26	26	14	14	33	33	33	33	22	22	18	18	146	33	113
28	2605	稲毛	GM	武田 桂一	新井 実		29	29	40	40	5	5	37	37	26	26	29	29	166	40	126
29	2602	稲毛		田中 真人	野田 俊介		24	24	25	25	22	22	36	36	BFD	42	20	20	169	42	127
30	2720	葉山		建内 満	岡 誠		19	19	27	27	25	25	27	27	31	31	30	30	159	31	128
31	2730	稲毛	M	宇佐美 重則	小田倉 里美		27	27	26	26	19	19	25	25	BFD	42	34	34	173	42	131
32	2609	葉山		高松 慎吾	武田 崇弘		25	25	37	37	27	27	35	35	23	23	25	25	172	37	135
33	2806	江ノ島	M	村尾 隆	津田 展明		34	34	21	21	39	39	29	29	20	20	36	36	179	39	140
34	2808	葉山		石川 洋二	井村 太一		35	35	29	29	27	27	38	38	29	29	26	26	178	38	140
35	2749	江ノ島		野口 優	杉田 智宏	菊本 諭司	27	21	30	30	34	34	37	37	32	32	32	32	180	34	146
36	2764	芦屋		中西 英貴	中川 秀男		33	33	38	38	37	37	12	12	34	34	35	35	189	38	151
37	2466	江ノ島	M	高橋 徹	塚原 郁郎		37	31	35	35	28	28	40	40	33	33	39	39	206	40	166
38	2621	葉山		山下 栄輝	永尾 岳志		30	30	41	41	13	13	DNC	42	DNC	42	DNC	42	210	42	168
39	2675	葉山	SGM	安原 実郎	戸田 隆久	山崎 真一	37	37	36	36	38	38	28	28	35	35	33	33	207	38	169
40	2708	葉山		荒島 謙治	須崎 裕典		38	38	34	34	35	35	39	39	36	36	38	38	220	39	181
41	2748	葉山	M	石原 裕二	本間 威		28	28	39	39	DNF	42	34	34	DNF	42	40	40	225	42	183

2007年度 テーザーミッドウィンターレガッタ

総合成績

2008年2月17日 神奈川県・江ノ島ヨットハーバー

Pos	Sail No.	フリート/ 水域	クラス	スキッパー	クルー1	1R		2R		3R		4R		Total
						着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	
1	2709	葉山	M	野嶋 嘉明	宮下 知之	11	11	1	1	1	1	2	2	15
2	2707	浜名湖	GM	石塚 恒志	白岩 道孝	10	10	6	6	3	3	1	1	20
3	2230	その他		鈴木 明日美	酒井 優紀	3	3	5	5	5	5	7	7	20
4	2706	葉山	M	秋山 紀夫	石丸 寿美子	2	2	2	2	14	14	3	3	21
5	2809	浜名湖	GM	蜂須賀 強	新井 実	5	5	4	4	10	10	4	4	23
6	2396	葉山		山本 晴之	清水 実	7	7	8	8	6	6	8	8	29
7	2821	その他		戸室 宣房	神谷 鷹男	1	1	9	9	11	11	13	13	34
8	2720	葉山		建内 満	武田 崇宏	12	12	14	14	4	4	6	6	36
9	2593	稲毛		亀山 寛達	井上 敦	8	8	10	10	9	9	9	9	36
10	2762	江ノ島	M	赤井 寛	千波 正隆	4	4	OCS	17	2	2	14	14	37
11	2749	江ノ島		野口 優	杉田 智宏	16	16	3	3	13	13	5	5	37
12	2806	江ノ島	M	村尾 隆	津田 展明	13	13	7	7	7	7	10	10	37
13	774	その他		酒井 雅博	鈴木 英広	6	6	11	11	12	12	11	11	40
14	2768	葉山		久礼 嘉伸	関根 淳士	15	15	13	13	8	8	15	15	51
15	2822	その他	M	亀井 直文	小池 裕司	14	14	12	12	15	15	12	12	53
16	2466	江ノ島	GM	高橋 徹	田口 公一	9	9	DNF	17	DNS	17	DNS	17	60

天候	晴れ	晴れ	晴れ	曇り
風向 °	180~0	160~250	170	50~100
風速 m/sec	0~4	1~6	2~7	6~8